

- 1 題材名 音楽の情景を想像して聴こう
(教材) ブルタバ ～連作交響詩「我が祖国」から～ スメタナ 作曲
- 2 題材の目標
 - ・楽器の音色、旋律、強弱、速度などのそれぞれの特徴やその要素が絡み合いながら生まれる曲想の変化を感じ取って、標題音楽の多様な音楽表現について理解しながら、そのよさや美しさを味わって聴く。
(思考・判断・表現)
 - ・標題音楽の多様な音表現に興味を持ち、情景をイメージしながらオーケストラの楽器や音色などについて関心を持って主体的に学習に取り組む。
(主体的に学習に取り組む態度)
- 3 単元計画
 - 第一次 楽曲・各場面ごとの楽器構成 …… 1時間
 - 第二次 楽曲・各場面ごとの具体的な表現方法 …… 2時間 (2/2)
- 4 本時の学習
 - (1) 題目 曲想の雰囲気と音楽の構造との関わりを理解しよう [第二次中2時]
 - (2) ねらい
 - ・楽器の音色、旋律、強弱、速度などのそれぞれの特徴やその要素が絡み合いながら生まれる曲想の変化を感じ取って、標題音楽の多様な音楽表現について理解しながら、そのよさや美しさを味わって聴くことができる。
(思考・判断・表現)

(3) 学校研究との関連

重点① 学習の見通しを持たせる工夫

- ・前時、前々時の学習でどんなことを学習し、楽曲についての理解を深めてきたのかについて再確認させる。

重点② 変容を自覚させる工夫

- ・様々な楽器の特性を理解し、各楽器の音色、旋律、強弱、速度などの要素が絡み合いながら独特の雰囲気を醸し出していることに気づかせる。

(4) 学習過程

1～7 学習活動		時	●指導 ◇評価(観点) <評価方法> *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②
○主な発問 ◎深める発問 ・主な意識の流れ ★生徒指導			
1 校歌、愛唱歌を歌う ・心を込めて大きな声を意識して歌おう。		5	●自らの意志で積極的な気持ちで歌うよう励ます。
2 学習のめあてをつかむ ・作曲者になったつもりで、曲の表現方法を考えよう。		3	●前時までの学習で理解したことを手がかりにして、考えるよう指示する。
各場面はどのように工夫されて表現されているだろう？			
3 自分で考える ○どんな点に注目してまとめていけばよいか。 ・どの場面を選ぼうかな。 ・どの楽器が主に活躍していて、長調、短調どちらの旋律かな。		12	重点① 前時までのワークシートを参考にしながら解説文をまとめさせる【ICT】 ●前時までの鑑賞を通して、大切なこと、気付いたことなどを手がかりにしながら解説文をオクリンクに入力させる。【ICT】 * C→B 調性(明るいか暗いか)とその情景を関連付けて考えさせる
4 自分の考えを伝え合う ・Aの場面は、フルートとクラリネットとで2つの水源を表して、弦楽器のピッチカートでしたたる水滴を表現しているのかな。		10	●他の意見を肯定的に捉えながら聞かせる。
5 みんなで考えを深める(★) ◎なぜそのような楽器を組み合わせたり、調や速度にする必要があったのかな。		15	●各班代表者の解説をのオクリンク上に提出し全体で共有する。【ICT】

<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器はほとんど全ての場面に活躍して、いろいろな役割を果たしているんだな。 ・打楽器は目立たないけど、迫力を出したりする時に効果的に使われているんだな。 <p>6 「わかった」「できた」をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各場面ごとに速度を変えているんだな。 ・様子や雰囲気を表すのに調の関わりというのは大切な要素なんだな。 	3	<p>◇楽器の音色、旋律、強弱、速度などのそれぞれの特徴やその要素が絡み合いながら生まれる曲想の変化を感じ取って、標題音楽の多様な音楽表現について理解しながら、そのよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <発表・観察></p> <p>重点②</p> <p>他の発表を聞き、どんな要素が作用し合って各場面の雰囲気を作り出しているかをきちんとまとめられているかを再認識させる。</p>
<p>(例) Aの場面は、2つの水源が流れ出す様子をフルートとクラリネットの木管楽器の掛け合いで表現しており、岩からしたたり落ちるしずくの音をヴァイオリンのピッチカートで表現している。</p>		
<p>7 ふり返りをする</p> <p>○曲のつくりには、どんな要素が関わっているのかな。</p>	2	

(5) 参観の視点に関する工夫点

- ・前時、前々時の学習で得た知識を活用して、解説文を作成することができたか。